

第4期中期目標期間における内部統制推進に関する基本方針とスケジュール

独立行政法人日本スポーツ振興センター（以下「JSC」という。）の第4期中期目標期間は、2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会等の大規模国際競技大会の開催を控えた重要な時期であると同時に、その後においても、日本のスポーツ界における中核的な拠点としての政策実施機能を的確に発揮していくため、以下の取組について中期目標を踏まえた適切な業務運営を行うとともに、内部統制の取組の推進を図る。

具体的な取組と5年間のスケジュールについては以下のとおりとする。

なお、基本方針及びスケジュールは随時見直しを行う。

1. 役職員の意識向上

研修や役職員の意見交換を通じて、内部統制の意義や重要性についてさらに理解を深め、業務を適正かつ効率的に行う環境を整備する。

- 役員と職員の意見交換を通じた基本理念等の周知徹底
- 職員意識調査結果を踏まえた施策の立案・実施

2. 業務運営の効率化

JSCに対する期待と役割が大きくなる一方、予算、人員に限られる中で、与えられたミッションを確実に達成するため、これまで以上に業務運営の効率化を図る。

- 事務処理の電子化の導入実施
- 内部規程等の見直しによる業務の効率化と適正化

3. 人員計画の作成・検証と研修機会の充実

組織の規模を適切に管理するため人員計画を作成するとともに、多様な研修を計画的に実施することにより職員の能力向上を図り、法人全体の業務成果の最大化を図る。

- 人材を重要な経営資源と捉えた人員計画の適切な実施
- 高い能力の育成（発揮）を目的とする体系だった職員研修等の計画的な実施

4. 情報セキュリティ対策の強化

大規模国際競技大会の開催を控え、サイバー攻撃などに適切に対処できるよう、政府統一基準群に準拠した情報セキュリティ対策の強化を図る。

- 研修を通じた情報セキュリティに関する役職員の理解度及び専門性の向上
- 情報セキュリティ対策推進計画の策定と対策の推進

第4期中期目標期間の5年間を見据えたスケジュール（H30～R4）

取組内容（アクションプラン）		H30（2018）	R1（2019）	R2（2020）	R3（2021）	R4（2022）
1. 役職員の意識向上	役員と職員の意見交換を通じた基本理念等の周知徹底	役員と職員との意見交換（JSCクロスミーティング等）、経営方針説明等実施				
	職員意識調査結果を踏まえた施策の立案・実施	検証→フィードバック（H29調査）	調査→検証→フィードバック（H30調査）	調査→検証→フィードバック（R1調査）	調査の見直し	職員意識調査を継続実施し、取組を検証
2. 業務運営の効率化	事務処理の電子化の導入実施	洗い出し・検討		検討結果を踏まえ導入実施		
	内部規程等の見直しによる業務の効率化と適正化	見直し・順次改正				
		整備方針に基づく業務マニュアルの見直し（年1回）				
3. 人員計画の作成・検証と研修機会の充実	人材を重要な経営資源と捉えた人員計画の適切な実施	←人員計画作成→ 業務の状況把握	業務の状況把握	業務の状況把握	業務の状況把握 →人員計画検証	業務の状況把握
	高い能力の育成（発揮）を目的とする体系だった職員研修等の計画的な実施	計画立案→実施→検証	計画立案→実施→検証	計画立案→実施→検証 「人事に関する基本的な考え方」に基づく検討	計画立案→実施→検証	計画立案→実施→検証
4. 情報セキュリティ対策の強化	研修を通じた情報セキュリティに関する役職員の理解度及び専門性の向上	研修実施→アンケート調査	研修実施→アンケート調査	研修実施→アンケート調査	研修実施→アンケート調査	研修実施→アンケート調査
	情報セキュリティ対策推進計画の策定と対策の推進	セキュリティリスク見直し 手引書作成				
		専門的研修の受講による理解度・専門性の向上				
		推進計画の策定とセキュリティ対策の推進				

 …運営点検会議での重点的な議題

※R4年度は上記の様々な取組内容を踏まえ議題を検討